



那覇市歴史博物館企画展 日本復帰40年記念「あれから40年」～Okinawaから沖縄へ～Ⅱ

沖縄戦という地上戦や異民族支配(米軍統治)を体験してきた沖縄県民は、軍国主義の象徴であった「日の丸」から、平和を謳った憲法が施行された日本国の象徴としての「日の丸」をかざしながら、日米両政府に対し日本復帰を要請し、各種請願運動を展開しました。その結果、1972年5月15日、



救命活動の充実に貢献 ～高規格救急車受納式典～

全国共済農業協同組合連合会から、市へ「高規格救急車」が寄贈され、3月29日(木)、受納式典が行われました。

今回寄贈された高規格救急車には、気道確保用資機材、輸液用資機材、自動心臓マッサージ器など、高度な救命措置の機材が積載され、さらなる救命活動の充実に期待されます。寄贈を受けた神谷副市長は「市は消防の出動件数が増加の一途をたどっています。この救急車両を活用し、一人でも多くの市民の命を守っていきたい」とお礼を述べました。

4月1日から那覇市暴力団排除条例を施行しました。那覇市では暴力団がいらない安全安心なまちづくりへの取り組みを強化します。その条例施行を前に3月28日(水)、暴力団排除那覇市民大会がパレット市民劇場で行われ、みんなで協力して暴力団を社会から排除していこうと決意表明しました。

市民のみなさん、暴力団から脅されたり、暴力団に関する情報を得たときには、警察や市にお知らせください。みんなで協力しあい、まちから暴力団を排除しましょう！



那覇市暴力団排除条例が施行 ～暴力団排除那覇市民大会～



地域で助け合い、幸せを感じられるまちづくりを ～公園・道路ボランティア協定書調印式～

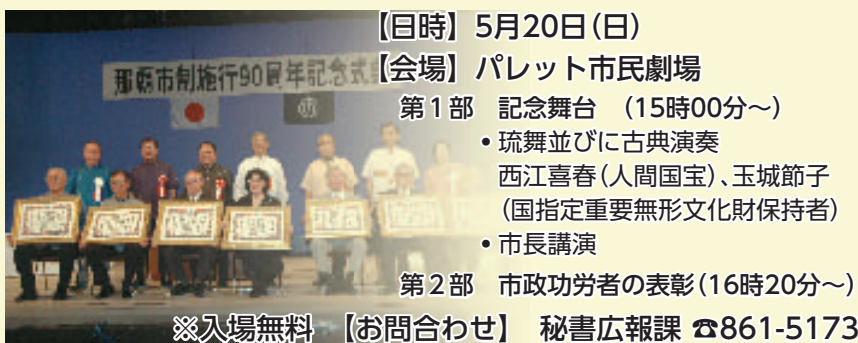
3月23日(金)、市長応接室で公園ボランティアおよび道路ボランティアの協定書調印式が行われました。

これは、協働によるまちづくりの環として、企業や学校、各種団体が公園や道路の清掃活動などを行い、地域の活性化を図ることを目的としています。調印式に参加した代表者の方々は、「ボランティア活動をしていると地域の人々から声をかけられるようになり、地域との交流や、地域貢献の気持ち」が社員の充実感にもつながっています」と語りました。

那覇市制施行91周年記念式典

那覇市は大正10年5月20日に市制を施行し、今年で91周年を迎えます。市の誕生日にあたる市制施行記念日に記念式典を開催しますので市民の皆さまのご来場をお待ちしています。

※市では4月から「ハイサイ運動」を展開中ですが、この運動は、琉舞や古典音楽などの沖縄文化の土台であるウチナーグチを守り伝えることを目的としています。そのため今年は、琉舞の玉城節子氏と組踊音楽歌三線の西江喜春氏により至芸の披露とともに、市長のウチナーグチへの思いを講演する第1部と、今年度の市政功労者表彰の第2部の2部構成で式典を挙行政いたします。



【日時】 5月20日(日)

【会場】 パレット市民劇場

第1部 記念舞台 (15時00分～)

- ・琉舞並びに古典演奏
西江喜春(人間国宝)、玉城節子(国指定重要無形文化財保持者)
- ・市長講演

第2部 市政功労者の表彰(16時20分～)

※入場無料 【お問合わせ】 秘書広報課 ☎861-5173

交通方法変更は、1978年7月30日午前6時を以て、これまでの右側通行から日本と同じ左側通行(車は左)に変更するものでした。

沖縄では、1947年米海軍軍政府指令により車の右側通行が指示されたため、日本本土とは違う「車の右側通行」でした。沖縄の復帰にともなう交通方法の二制度をよしとしない日本政府は、復帰の総仕上げとして交通方法の変更を計画しました。生活環境の

終戦から27年振りに沖縄は日本国の一自治体「沖縄県」になりました。

日本政府は、沖縄の日本復帰歓迎行事として「若夏国体(1973年)」「沖縄国際海洋博覧会(通称：海洋博1975年)」を開催し、また復帰にともなう日本本土との制度は正のため、ドルから円への通貨切り替え(1972年)、交通方法変更(1978年)を行いました。

交通方法変更は、1978年7月30日午前6時を以て、これまでの右側通行から日本と同じ左側通行(車は左)に変更するものでした。



壺屋名工作品展

今は亡き陶工から現役の陶工まで、名工が織り成す技をご覧ください。5月6日(日)まで、3階企画展示室 無料

田野多栄一が写した40年前の琉球・沖縄

日本復帰前後の琉球・沖縄を写真とともに振り返ります。期間中は、壺屋やちびん通り各店舗でも当時の写真を展示します。5月10日(木)～20日(日) 3階企画展示室 無料

学芸員と展示を見よう！ 常設展ギャラリー トーク

常設展示の内容について、学芸員が展示会場で解説します。

5月20日(日)10時から1時間程度、園常設展の観覧が必要で、市内の小・中・高校生は無料

壺屋焼物博物館

開館時間10時～18時(入館は17時半まで) 月曜休館
※ただし、月曜が祝日の場合は開館 ☎862-3761 ㉨862-3762

首里を愛する方、募集中。

活動内容

このたび、活動や事業をより充実させるために、賛助会員様を募集することとなりました！

特定非営利活動法人 NPO 首里(以下、NPO 首里)は、首里城周辺住民および観光客に対して、民俗文化・農村の振興・支援、青少年の育ち育成および社会福祉活動、首里城の環境保全活動、その他、首里城の活性化を図ることを目的として設立された公益財団法人です。

青少年の健全育成 文化・芸術またはスポーツの振興
環境の保全 街づくりの推進

事業内容

(1) 世界遺産首里城及び史跡をよりよく活用するための施設整備の補助
(2) 琉球、獅子舞、エイサー、等青少年活動への支援活動
(3) 琉球王城首里城への支援活動
(4) 各自活動活動への支援活動
(5) 公共施設の管理運営事業
(6) コミュニティサロンの管理運営事業(ダイニングキッチンまはた)

年会費 どなたでも年間 12,000円にてご入会いただけます。

会員特典

賛助会員になられた方には、NPO 首里が運営する2店舗でご利用いただけるスタンプ特典あり！

1月～3月の年間でご利用いただける特典。店舗は、コミュニティサロン(ダイニングキッチンまはた)、首里城売店で、12,000円の食事券もしくは商品券としてご利用いただけます。また、NPO 首里の店舗へ2回目以降の来店からは、飲食並びに売店購入価格から会員特典として10%OFFとなります。

コミュニティサロン(ダイニングキッチンまはた) 沖縄県那覇市首里城跡34番地 1F
TEL&FAX 098-884-4528

特定非営利活動法人 NPO 首里
住所 沖縄県那覇市首里城跡34番地 1F
TEL&FAX 098-884-4528